

第 20 回 いなべFM番組審議委員会議事録

1. 開催年月日 平成 29 年 10 月 30 日(月) 19 時 00 分～

2. 開催場所 ザ・グランドティアラ千寿

3. 出席者 委員総数 6 名 出席委員数 5 名

出席委員

石原正敬委員長 石垣 英一副委員長 日紫喜淳委員
末松則子委員 種村道夫委員

欠席委員

牧野秀紀委員

事務局

会長 弓矢孝己
事務局 中林謙太

4. 議題

1. 報告事項
2. 審議用サンプル番組について
「備えよう・見直そう・防災」
3. 各番組メール集計について

5. 議事の経過の概要及び結果

事項 1. 報告事項

<事務局より>

番組表が 10 月より新しくなりました。

変更点は、金曜日のお昼の生放送内にて、滋賀県東近江市の FM 東近江さんとの共同制作番組を同日同時刻に放送しています。内容は、両市の地域おこし協力隊の方をそれぞれゲストに迎え活動状況やイベント等の情報をお話しいただいています。

また、11 月 19 日投開票のいなべ市議会議員選挙の開票速報を放送します。

委員

開票の数字を間違えないように、念には念を。

事項 2. 審議用サンプル番組について

9月1日放送 防災特別番組 「備えよう・見直そう・防災」

委員

ゲスト、パーソナリティともに慣れていて(過去毎回出演している)聴きやすかった。今までは地震災害であったが今回は風水害という事で違った切口でやってもらっていたが、この二人だと話がきれいすぎて耳に入りにくいのかなと思った。もう一人質問者のような人もいた方が耳に入ってきてやすいのではないかな。

委員

いつものパーソナリティさんで声も聴きやすく二人の話すスピードもマッチしていて聴きやすかった。内容についても申すことはない。

委員

パーソナリティのイントネーションもよく聴きやすい、コミュニティ FM っぽくなく県域 FM 以上のようにレベルが上がってきていると思う。

番組の途中で、コミュニティエフエムはどういう時に大事なのか、どういう機能があるのか、どういう役割があるのか等の CM を入れていたが、これは良いことだと思う。他の番組中にも所々コミュニティ FM とはどういうものかという CM 等を入れると認知されていいと思う。

委員

パーソナリティが丁寧で聴きやすい。落ち着いて聴ける。番組の構成も実際に被災地に行って活動した話や、いなべ市で実際に割込み放送で避難準備情報を流した事など、わかりやすかった。

コミュニティ放送はコミュニティ放送ならではの強みがある(三重県なら情報が大きくなる)。コミュニティ放送はこうでなければならない。

委員

番組的には問題ない。その関連で、台風 21 号の時の緊急割込み等を時系列で教えていただきたい。また、災害時、エリアメールでいなべ FM を聴いてくださいなど、いなべ市と連携できるように提案してみてもどうか。いなべ FM の認知が上がるのではないかな。緊急割込みの運用についても考えてみては。

事務局

頂いたご意見を実施していけるよう検討させていただきます。

事項 3.各番組メール集計について

事務局

特に大きい変化なし。

6.審議事項に対してとった措置

次の番組制作会議にて検討予定。

7. 公表の方法

自社ホームページ

8. その他

なし